

渡邊 雅彦		校長先生 おすすめの本		
書名		「山月記」		
著者名	中島 敦	出版社	新潮社 ほか	
<あらすじ>				
中国、唐の時代、主人公‘李徵’は、才能もあり、役人に合格するが、もともと役人のことを蔑（さげす）んでいた。そこで、才能を生かして有名な詩人になろうと役人を辞め、山にこもるが、結局、大成せず、元の役人に戻ってしまう。ところが、かつての部下が上司となり、使われる目にあい、精神的にもおかしくなり山野に逃げ込むのであった。その山野で虎になり、その山道でかつての同僚に出会うのであった。その時、自分の気持ちや行動を「臆病（おくびょう）な自尊心（じそんしん）」と「尊大（そんだい）な羞恥心（しゅうちしん）」と述べた。				
<解説>				
臆病な自尊心				
— 他人が褒められているとき、自分は何も言えなかったのに、分かっていると虚勢を張ること。				
尊大な羞恥心				
— 自分は十分、分かっているのに、堂々と発表できず、小さな声で答えてしまうこと。				
全文が漢文調で書かれているので、読むには難しく、中学生の皆さんには注釈が必要かもしれません。ただ、この短編小説は、高校国語の教科書では必出題材で、テストにも必ず出されます。全部が分からなくても、予習のつもりで挑戦してみてください。				
問題例：李徵のどんな行動が「臆病な自尊心」であり、「尊大な羞恥心」にあたるか。				
その他、私自身が意味のある言葉と感じた本文中の表現				
「人生は何事も為（な）さぬには余りに長いが、何事かを為すには余りに短い」				
中学生の皆さんの場合は、人生を、時（とき）と置き換えて考えてみるとよく分かります。				

柿花 正信		教頭先生 おすすめの本	
書名		「マリアビートル」⇒「オー・ファーザー」⇒「砂漠」	
著者名	伊坂 幸太郎 他	出版社	新潮社 ほか
昔、図書館で装丁のデザインとタイトルが変わっていたのが目につき、たまたま手にした「重力ピエロ」という作品を読んで以来、伊坂幸太郎の作品はすべて読んでいます。軽い話、あり得ない話が多いですが、いろんな仕掛けがあり、読書の幸せを味わえます。「重力ピエロ」もそうですが、最近「オー・ファーザー」も映画化されるなど、結構映画化もされている作品が多くて知っている方もいるのではないかと思います。			
「マリアビートル」⇒「オー・ファーザー」⇒「砂漠」の3作品を選んだのは、登場人物が中学生⇒高校生⇒大学生となっていて、楽しめるのではと思ったからです。			
他には、映画が大ヒットした「永遠の0」の作者百田尚樹の作品では、「永遠の0」もそうですが、大阪を舞台にした高校ボクシング部を描いた「ボックス」、主人公が蜂！の「風の中のマリア」、また、長編ですが、中学生のいじめを描いた宮部みゆきの「ソロモンの偽証」、息子が読んでいたのを借りて読んだら意外と面白かった朝井リョウの「桐島、部活やめるってよ」、授業をしていたときによく生徒たちに読み聞かせをして紹介した芥川龍之介の「杜子春(とししゅん)」などもお勧めです。			



<b>田中 正博</b>		<b>先生 おすすめの本 その1</b>	
書名	「蜘蛛の糸」と「走れメロス」		
著者名	芥川 龍之介 と 太宰 治	出版社	新潮社文庫 ほか
<p>二冊とも短編なのですごく読みやすい。信じる者のために様々な困難を乗り越え、走り続けるメロスの姿には感動を禁じ得ない。一方、天国から地獄に降りてきた蜘蛛の糸を上っていく自分に続いてくる他の人たちに「上ってくるな」と言うカンダタは何てひどい人間だろう、と誰でも思う。でも、そんな考えが、自分の中にはないと言い切れるだろうか。本当にそんな場面になった時、自分ならどんな言葉を発するか、まじめに考えるとちょっと怖くなります。また、現実の自分はどうだろうか。セリヌンティウスのように誰かを信じきることはできるだろうか。また、メロスのように信じられるにふさわしい人間であり続けられるだろうか。自分の姿を考えるヒントになる本です。</p>			



<b>田中 正博</b>		<b>先生 おすすめの本 その2</b>	
書名	「弱くても勝てます」		
著者名	高橋 秀美	出版社	新潮社文庫
<p>2014年の東大合格者数で1位の東京の開成高校野球部のお話です。いわゆる野球名門校が中学野球のエリートを集めて甲子園出場を目指しているのとは対照的な超有名進学校の野球チームです。体力、技術出負けているうえ、グラウンドでの練習は週一回。何もかもも制限されている彼らがどのように立ち向かおうとしているか、実に興味深く面白い。相手の打球を怖がる選手が多く、守備はあきらめて練習をしない。10点取られても15点取ってドサクサまぎれに勝つ。そのためには打撃練習しかしない、等等。弱いけれど何とか勝とうとする姿が「普通」でなく、野球を知っている人なら思わず爆笑。野球を知らない人にとっても、難しいことにチャレンジする姿はとても参考になります。</p>			



<b>浦辺 宗一郎</b>		<b>先生 おすすめの本</b>	
書名	「人工衛星の“なぜ”を科学する」		
著者名	NEC「人工衛星」プロジェクトチーム	出版社	アーク出版
<p>天気予報も衛星放送もカーナビもGPSケータイも、人工衛星がなければ始まらない!? 遥か彼方の宇宙空間を飛ぶ人工衛星だが、じつは私たち暮らしにとって欠かせない存在。だれがどうやってつくっているのか?飛び続けるエネルギーは何? だれもが抱く素朴な疑問に答えてくれている本です。技術者目線の本で普通では知れることなども知れてとても面白い本です!! ちなみに本に登場する『Negai☆』衛星の運用を先生は行いました。</p>			



山本 歩実		先生 おすすめの本	
書名	「県庁おもてなし課」		
著者名	有川 浩	出版社	角川書店
「図書館戦争」「フリーター家を買う」の代表作で知られる、有川浩の作品です。			
<p>舞台は有川浩さんの出身地である、高知です。</p> <p>「自然あふれる高知県」最上の素材を持っているのに、活かすことができない高知県。</p> <p>高知県が過疎化しないようにするために、外貨を稼ぐしかない！！！！</p> <p>ということで、高知県を観光県にしよう！と県庁が「県庁おもてなし課」を立ち上げます。</p> <p>思うようにことは、進まない。進まないことにイラ立たない主人公を高知の有名小説家が叱咤する。</p> <p>「パンダ誘致論者」を召喚しよう！！！と主人公は悪戦苦闘します。</p>			
<p>たくさんの高知の良きがピックアップされている作品です。3年生は修学旅行のことを思い出しながら、ぜひとも読んでほしいなあと思います。</p> <p>著者の有川浩さんは、高知県出身で大学時代を関西で過ごされました。</p> <p>「高知にいる時には気づかなかつた、たくさんの自然に関西にいる時に気づいた。」といろんな作品のあとがきに書かれています。有川浩さんの作品には、身近な自然がたくさん書かれています。</p> <p>日常生活の中の自然に気づいてほしいなあと思います。</p>			

西尾 京子		先生 おすすめの本	
書名	「ハリー・ポッターと賢者の石」		
著者名	J・K・ローリング	出版社	静山社
<p>1997年に刊行され、世界的ベストセラーになり、2007年刊行「ハリー・ポッターと死の秘宝」で完結（全7巻）。2001年～2011年映画化もされました。</p> <p>今年2014年7月15日ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに映画版のセットを模したテーマパーク「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター(The Wizard World of Harry Potter)」が開園するにあたり、再び「ハリポタブーム」が大阪にくることまちがいなし！これを機会に映画を観た人も、本を読んでみてはいかかでしょうか。</p> <p>もう読んだという人は原文（英文）で「HARRY POTTER and the Philosopher's Stone」を、ぜひ読んでみましょう。図書館に「ハリー・ポッターが英語で楽しく読める本 Vol.1～7」（コスモピア）もおいてありますので、楽しみながら英語の勉強もできておすすめです。</p>			

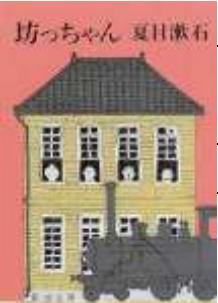
田中 和子		先生 おすすめの本 その1	
書名	「カソウケンへようこそ おうちの中の非実用?サイエンス」		
著者名	内田 麻理香	出版社	講談社
<b>ジッケン(実験)は研究室でおきているのではない。家庭で起きている!!</b>			
<p>タイトルの<b>カソウケン</b>とは、警察の科学捜査研究所ではなく、著者の家を舞台にした<b>家庭科学総合研究所</b>のこと。</p> <p>リケジョ（理系女子）の専業主婦が書いた家庭の中で起こるさまざまな出来事を科学的な視点で説明している本です。</p> <p>カソウケンの1週間として紹介されている内容には シミ抜き、色、水、ご飯、お菓子のふくらみ、肉の赤身、洗剤、鍋の周りの熱など日常生活で経験していることを、科学的に、かつ簡単に楽しく解説してくれています。</p> <p>「科学（理科）ってむずかしい！！」と思っている人にもかわいいさし絵と、楽しい語りで、「科学って意外と身近にあるものなんだ～」と感じてもらえる一冊だと思います。</p> <p>理科好きの人も、いまひとつ苦手な人も、ぜひ一度手に取ってみてください。</p>			

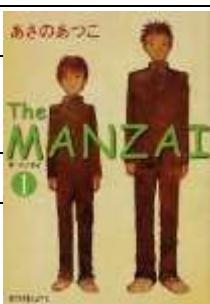
田中 和子		先生 おすすめの本 その2	
書名	「重曹生活のススメ」		
著者名	岩尾 明子	出版社	飛鳥新社
<p>中学校2年生の理科の授業でつかう「炭酸水素ナトリウム」 正式な名前で聞くと難しそうですが、一般的には「重曹（じゅうそう）」や 「ベーキングソーダ」「タンサン」などの名前で、スーパー・百均・薬局でも手に入る身近な薬品です。</p> <p>「化学合成物質に頼らない地球に優しい魔法の粉」とも言われている重曹が掃除の汚れ落とし、歯磨き剤、入浴剤、消臭剤、お菓子や料理の材料などなど、たくさんの使い方ができることを写真や絵も使ってくわしく紹介しています。</p> <p>理科で使う薬品だけで終わるのでなく、理科で見聞きしたものが身近なところで使えることがわかる1冊です。</p>			

田中 和子		先生 おすすめの本 その3	
書名		「オリーブ石けん、マルセイユ石けんを作る」	
著者名		出版社	飛鳥新社
<p>「石けん」って好きですか？</p> <p>百均やスーパー、薬局、ホームセンターなどいろいろなところで売られている石けんですが、「石けん」をどうすれば手作りできるか、が詳しい説明とたくさんの写真で紹介されています。</p> <p>スーパー（自分で石けんを作る人）の間では、バイブルとも言われているこの本。</p> <p>石けんの材料の油のこと、オプションで加える香りや色のこと、良い石けんをつくる知識など中身が濃いです。</p>			
<p>最近は、大型のショッピングモールなどで、「ラッシュ」「ロクシタン」などが手作り石けんを販売しているので、手作り石けんは香りが強く、値段が高いと思っている人もいるかもしれません、自分で手作りすれば、好きな香りで自分の肌の状態・季節にあわせた石けんを安く作ることできることを知つてもらえると思います。</p> <p>私自身がこの本をきっかけに、石けんを手作りするようになり、何度も失敗しながら、自分が納得のいく理想の石けんを目指して、チャレンジ中です。</p> <p>肌が弱い高校生の娘は「ひとり暮らしをするときはお母さんの作った石けんとクリームをもらっていくからね」とすでに宣言（早すぎるだろ！）するほど、我が家では手作り石けんが当たり前になっています。</p> <p>中学生が、材料の1つ水酸化ナトリウムを手に入れるのは難しいですが、この本を見ながら、意外と石けんって簡単に作れるんだなと感じてもらい、大人になったら、ぜひ石けんを手作りしてほしいなあと願って推薦します。</p>			

安東 実香		先生 おすすめの本	
書名		「ナゲキバト」	
著者名		出版社	あすなろ書房
<p>母鳥を撃ってしまった！ヒナは2羽。どちらも助けたいが、助けられるのは1羽だけ。どちらかを殺さなければ2羽とも死んでしまう…</p> <p>火事で納屋が燃えている！中には兄弟が。勤勉で家族思いの兄と、なまけものでうそつきで悪い心しか持ち合わせていない弟。時間的にも体力的にもどちらか一人しか助けられない…</p> <p>ミシシッピー川のほとりの小さな町でつむがれる物語です。</p> <p>「児童文学」のカテゴリーに入りますので、重いテーマにもかかわらず、すぐに物語の世界にひきこまれ、気が付けば、深い感動とともに読み終えていることでしょう。</p> <p>アメリカでは最初、自費出版で世に出されました、何ひとつ宣伝をしないうちに感動が人から人へ伝わり、あらためて大手出版社で出版されました。</p>			

山田 莊子 先生 おすすめの本	
書名	「走ることについて語るときに僕が語ること」
著者名	村上 春樹
<p>「なぜそこまでしんどい思いをして走るのか？」</p> <p>マラソンに対して持っていた疑問に対して、これほどまでにわかりやすく、読みやすい文書で書かれたものは他にないと思います。</p> <p>走ることだけでなく、自らの想いや生き様、創作活動についても書かれていて、なぜこの作家が世界中でこんなに大勢の人たちに支持されているのかがわかる内容になっています。</p> <p>「走らなくても、絵が描けなくても、楽器が弾けなくても、外国語がしゃべれなくても生きてはいいける。でもぼんやりと生きる10年より、目的をもって生き生きと生きる10年を目指したい。努力して手に入れたものは、必ず自分の人生を照らしてくれる。」</p> <p>そんなメッセージが込められています。</p>	
	

岩田 悅子 先生 おすすめの本	
書名	「坊っちゃん」
著者名	夏目 漱石
<p>作者が松山(愛媛県)の先生をしていた体験をもとにした学園物語。「親譲りの無鉄砲」でいたずら好きな「坊っちゃん」先生が、反骨精神を持って、周囲の人々を描いている。</p> <p>私も、この本に出会って読書に目ざめた一冊です。</p>	
	

松井 弘美 先生 おすすめの本	
書名	「The MANZAI」1~6
著者名	あさの あつこ
<p>ごく普通の中学生たちが、クラスの文化祭の出しものにロミオとジュリエットを漫才ですることに。取り組みのなかで、仲間のことを知り、考え、絆が深まっていく様子は、共感できる場面が多くあります。大阪弁で表現されているので、読みやすいと思います。</p>	
	

吉川 千絵子		先生 おすすめの本	
書名		「中学生の夢 47都道府県47人の中学生の夢」	
著者名	編:日本ドリームプロジェクト	出版社	いろは出版
47都道府県 47人の中学生が描いている夢。あなたには夢がありますか?人は目標や夢があると何があっても前に進めます。			
将来の夢から近い夢まで、いろいろな想いがつまつた本です。同じ中学生が抱いている夢や素直な気持ちを読んでみませんか。			
「中学生の夢」以外にも「働く人の夢」「家族への夢」「1歳から100歳までの夢」などのシリーズがあります。いろいろな夢にふれて、自分の将来について少し考えてみてください。			
詩人きむが中心につくっている本です。素敵な写真などにも注目。			



上田 ひとみ		先生 おすすめの本	
書名		「1歳から100歳の夢」	
著者名	編:日本ドリームプロジェクト	出版社	いろは出版
長男が中学生になったときに、「朝読の本がほしい」と言いこの本をプレゼントしました。			
人の夢を聞いて、その人が夢に向かって頑張っている姿や勇気に自分自身が元気をもらえる、そんな本です。			
ほっこりしたり、感動したりと、いろんな自分と出会ってください。			



多田 保		先生 おすすめの本	
書名		「博士の愛した数式」	
著者名	小川 洋子	出版社	新潮文庫
自己で記憶力を失った数学者と、彼の世話をすることになった母子と、家政婦として働くことになった「私」との話。			
80分間に限定された記憶。ページのあちこちに織りこまれた数式。そして江夏豊と野球カード。最後まで一気に読み終えました。			

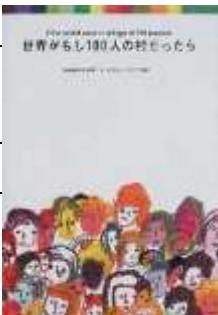


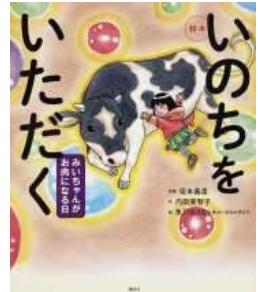
橋口 徳治		先生 おすすめの本	
書名		「言えなかつた、ありがとう」	
著者名	大嶋 啓介	出版社	サンマーク出版
「ありがとう」たった一言の感謝の気持ち、素直な気持ちを隠さず、照れることなく伝えることの素晴らしさが感じられる一冊です。この本で人生が変わる。たった一冊の本で人生が変わります!			



稻葉 吉信		先生 おすすめの本	
書名		「火垂るの墓」	
著者名	野坂 昭如	出版社	新潮文庫
<p>野坂昭如の獨特な文体の小説です。</p> <p>太平洋戦争のさ中、空襲にあった神戸の町で、幼い妹と2人で逃げまどったことを描いた自伝的な作品です。</p> <p>アニメにもなっているので、小説の題を知っている人も多いと思います。原作を読んだことのない人は、是非読んでみてください。</p>			
			

田里 宜資子		先生 おすすめの本	
書名		「ブラバンキッズ・ラプソディー 野庭高校吹奏楽部と中澤忠雄の挑戦」 「ブラバンキッズ・オデッセイ 野庭サウンドの伝説と永遠のきずな」	
著者名	石川 高子	出版社	三五館
<p>独特的な音色の美しさ、表現力のふくよかさから「野庭サウンド」と呼ばれ、その伝説的な演奏が長く語り継がれてきた野庭高校吹奏楽部。しかし、初めは皆、素人同然のつたない演奏でした。指導者の中澤先生と生徒たちの出会いから、わずか半年で関東大会出場、その翌年には全国大会で金賞を受賞。</p> <p>その栄光の陰に隠されたドラマを丹念に伝えるドキュメンタリーです。</p> <p>後編では、中澤先生が病に侵され、亡くなる寸前まで指導を続ける話になります。命がけで指導をし、部員と一丸になり、みごと全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞する素晴らしい演奏をします。そのとき、「ブラボー」の声が次々と上がったそうです。</p> <p>生徒たちが中澤先生の指導で音楽的な技術や表現力だけでなく、人間としても大きく成長する姿は感動的で、涙が止まりませんでした。吹奏楽部だけでなく、何かを頑張る人全員に読んでほしいです！！</p>			
			

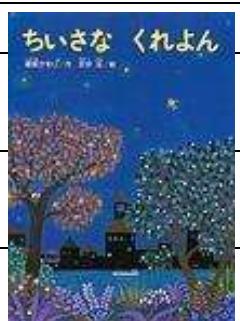
中田 紗子		先生 おすすめの本	
書名		「世界がもし100人の村だったら」	
著者名	池田 香代子 再話	出版社	マガジンハウス
<p>世界を100人という数字で単純化することで、自分の考える「普通」の生活スタイルが統計で客観的に見直されます。そして、世界の貧富の格差も現実的に考えられる本です。</p>			
			

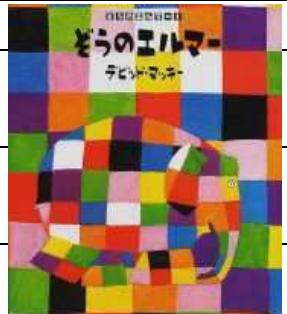
<b>神山 弘美</b> 先生 おすすめの本			
書名	「絵本 いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日」		
著者名	内田 美智子 (作), 魚戸おさむとゆかいななかまたち (絵), 坂本 義喜 (企画・原案)	出版社	講談社
<p>「いのちの教育」って、今まで「生まれてきた大切な命」に焦点をあてて取り組んでいましたが、「いただく大切なのち」もあるんだということを改めて気づかせてもらいました。</p> <p>普段、食卓に並び、私たちが口にするお肉や魚など、生き物に感謝する気持ちもさることながら、その命をとじるお仕事をしている方や、命を育てるお仕事をしている方への感謝の気持ちと、その方々が、日々心に抱える葛藤を持っていることも忘れてはいけないと思わせてくれる作品です。</p> <p>食べているものに対して思いをはせることにより、点が線になって一つの延長線上に繋がり、感謝の気持ちが生まれ、自然に「いただきます」と「ごちそうさまでした」が言える。そんな、きっかけになる本だと思います。</p> <p>私が出逢った本はこの絵本でしたが、単行本も出版されているそうなので、今度読んでみようと思います。</p>			
 			

<b>(管理作業員) 三村 宏樹</b> さん おすすめの本			
書名	「永遠の〇」		
著者名	百田 尚樹	出版社	講談社
<p>太平洋戦争で零戦搭乗員だった祖父の生涯について調べていくという物語です。祖父について知る戦争の生き残りである形から断片的ではあるが祖父の事を知り又戦争の悲惨な事、理不尽な事も描かれています。</p> <p>映画にもなった作品ですが、戦争を題材としているので少し人を選ぶかもしれませんが、自分は大変印象に残った作品なのでオススメします。</p>			
			

<b>(事務室) 酒井 麻樹子</b> さん おすすめの本			
書名	「ルーガルー 忌避すべき狼」		
著者名	京極 夏彦	出版社	角川書店
<p>時代は近未来。食糧危機から脱出し戦争のなくなった世の中、一見理想的な世界を生きる14~15歳の少女たちのリアルとリアルの顔をした嘘とは？</p> <p>生物のあるがままの姿と人類の理想は相容れるのか—</p> <p>あの今をトキメク京極夏彦が読者の意見を取り入れながら描いたという新感覚ミステリーです。分厚い本なので読みごたえはバツチリ！</p> <p>あなたが手に取ってくれるのを、図書館で待っています。</p>			
			

<b>(元気アップ支援員) 武藤 博昭</b>		<b>先生 おすすめの本</b>	
書名	「秘境駅へ行こう！」		
著者名	牛山 隆信	出版社	小学館
<p>「秘境駅」は、鉄道以外にたどりつく道もなく乗降客もほとんどありません。それでも、ひっそりとたくましく存在する駅です。駅が存在するのには歴史と理由があります。失った何かを感じさせます。最近では「秘境駅」が大人気となって本やテレビにもよくとりあげられています。「秘境駅」という列車まで走っています。</p> <p>この本はその「さきがけ」となった本です。</p>			

<b>(図書ボランティア) 坂本 和代</b>		<b>さん おすすめの本 その1</b>	
書名	「ちいさなくれよん」		
著者名	篠塚 かをり(作) 安井 淡(絵)	出版社	こどものくに
<p>物が豊かな時代、手軽に品物が手に入り使い捨ての昨今。この本は、クレヨンを通じて、まだまだ“役”に立ちます、使えますヨ！を伝えてくれている本です。</p>			

<b>(図書ボランティア) 坂本 和代</b>		<b>さん おすすめの本 その2</b>	
書名	「どうのエルマー」		
著者名	デビッド・マッキー(作,絵) きたむら さとし(訳)	出版社	BL 出版
<p>とにかく絵がたのしい！きれい！カラフル！！です。 心がウキウキする本です。</p>			

<b>(図書ボランティア) 仲矢 美佳</b>		<b>さん おすすめの本</b>	
書名	「モギー小さな焼きもの師ー」		
著者名	リンダ・スー・パーク(作) 片岡 しのぶ(訳)	出版社	あすなろ書房
<p>身なしごのモギをひきとて育てたじいやん、じいやんとモギは、とても仲良し。でも、とてもとても貧乏。だけど、楽しく2人で橋の下で暮らしている。ある日モギは、ひょんなことから焼きもの師の弟子になる。きびしい修行も、じいやんの面白くためになる話で耐えていく。そしてモギは自ら過酷なつとめをひきうける。とてもきびしい旅………じいやんは、1日のくり返しというが、モギは全うできるのか。</p>			

